



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社Paltac

コード番号 8283 URL <http://www.paltac.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 折目 光司

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 部長

(氏名) 嶋田 政治

TEL 06-6262-1554

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	590,202	1.2	7,507	30.1	11,338	17.4	4,458	△15.5
23年3月期第3四半期	582,919	1.7	5,772	△23.4	9,656	△13.2	5,275	△10.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	79.83	—
23年3月期第3四半期	94.45	—

(注)平成24年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を記載しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	302,715	109,268	36.1	1,956.35
23年3月期	297,850	106,057	35.6	1,898.86

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 109,268百万円 23年3月期 106,057百万円

(注)平成24年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
24年3月期	—	20.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成24年3月期(予想)につきましては、当該株式分割を実施した後の金額を記載しており、当該株式分割を考慮しない場合の年間配当額は50円00銭(期末30円00銭)となります。

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	770,000	1.6	9,200	55.6	14,200	23.6	6,100	77.8	109.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っておりますが、当該株式分割が期首に行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を記載しております。

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、〔添付資料〕3ページ「(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	55,853,485 株	23年3月期	55,853,485 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	193 株	23年3月期	150 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	55,853,326 株	23年3月期3Q	55,853,480 株

(注)当社は、平成24年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興により、緩やかな持ち直し傾向がみられるものの、厳しい雇用情勢やデフレに加え、欧州の政府債務危機や為替・株価の変動などの影響により景気の下振れが懸念されるなど、厳しい状況が続いております。

化粧品・日用品、一般用医薬品業界においては、所得環境の低迷を背景とした節約志向が続く中、企業間競争の激化等により厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は「美と健康」に関わる生活必需品をフルラインで全国に販売する中間流通業として、高品質・ローコストのロジスティクス機能、取引先の効果的な品揃えや販売活動を支援するマーチャンダイジング機能およびストアソリューション機能の強化を図り、サプライチェーン全体の効率化を目指した取組みを行いました。

加えて、自家発電装置の導入等によるBCP(事業継続計画)の強化を図り、取引先により安心いただける企業基盤の整備を推進しております。

また、出荷拠点の集約や、希望退職の実施による適正人員体制の構築などにより、ローコスト経営の基盤強化に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,902億2百万円(前年同期比1.2%増)、営業利益は75億7百万円(前年同期比30.1%増)、経常利益は113億38百万円(前年同期比17.4%増)となりましたが、希望退職の実施により、特別退職金を特別損失に計上したため、四半期純利益は44億58百万円(前年同期比15.5%減)となりました。

当第3四半期累計期間におけるセグメント別の業績は、次のとおりであります。

卸売事業

卸売事業は、取引先との取組強化によるインスタシアの拡大や、震災による生活必需品の一時的な需要増加などにより堅調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は5,811億28百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は82億89百万円(前年同期比14.6%増)となりました。

物流受託事業

物流受託事業は、受託先の安定した事業展開および前期に取引を開始した新規受託先の増加分が寄与し堅調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は90億74百万円(前年同期比38.6%増)、営業利益は13億41百万円(前年同期比295.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて48億65百万円増加し、3,027億15百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が70億74百万円、商品及び製品が53億54百万円増加したことや、現金及び預金が15億28百万円、有形固定資産が36億50百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて16億54百万円増加し、1,934億46百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が36億11百万円、1年内返済予定の長期借入金が16億4百万円、長期借入金が46億1百万円増加したことや、短期借入金が45億44百万円、未払法人税等が21億65百万円、賞与引当金が11億55百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて32億11百万円増加し、1,092億68百万円となりました。これは主に、利益剰余金が29億69百万円、その他有価証券評価差額金が2億43百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末より15億28百万円減少し、168億40百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1億円(前年同期比19億84百万円の減少)となりました。これは主に、税引前四半期純利益80億42百万円、減価償却費36億80百万円、賞与引当金の減少額11億55百万円、売上債権の増加額70億74百万円、たな卸資産の増加額53億54百万円、仕入債務の増加額39億99百万円により79億89百万円の資金が得られたものの、法人税等の支払額43億9百万円、特別退職金の支払額58億27百万円、保険金の受取額23億72百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は16億88百万円(前年同期比45億39百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出32億65百万円、有形固定資産の売却による収入15億31百万円、投資有価証券の取得による支出4億62百万円、敷金及び保証金の回収による収入8億91百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は60百万円(前年同期は56億68百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入金の純減少45億44百万円、長期借入れによる収入80億円、長期借入金の返済による支出17億95百万円、配当金の支払額14億83百万円によるものであります。

(3)業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年10月31日公表の予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分)および「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しております。

当第3四半期貸借対照表日後(平成24年1月1日)において株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益および1株当たり純資産を算定しております。

なお、これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第3四半期累計期間の1株当たり四半期純利益および前事業年度末の1株当たり純資産は、以下のとおりであります。

1株当たり四半期純利益金額	141円68銭
1株当たり純資産額	2,848円29銭

2. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,368	16,840
受取手形及び売掛金	131,442	138,516
商品及び製品	40,112	45,467
その他	18,754	16,509
貸倒引当金	△124	△202
流動資産合計	208,553	217,131
固定資産		
有形固定資産		
土地	37,525	36,711
その他 (純額)	42,450	39,614
有形固定資産合計	79,976	76,325
無形固定資産	316	408
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,048	8,882
貸倒引当金	△43	△32
投資その他の資産合計	9,004	8,849
固定資産合計	89,296	85,584
資産合計	297,850	302,715
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	126,256	129,868
短期借入金	34,852	30,308
1年内返済予定の長期借入金	1,956	3,560
未払法人税等	2,165	—
賞与引当金	1,950	794
返品調整引当金	228	272
災害損失引当金	835	471
その他	13,359	13,420
流動負債合計	181,603	178,695
固定負債		
長期借入金	5,848	10,449
退職給付引当金	2,098	1,817
その他	2,243	2,485
固定負債合計	10,189	14,751
負債合計	191,792	193,446

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12, 482	12, 482
資本剰余金	24, 440	24, 440
利益剰余金	68, 714	71, 683
自己株式	△0	△0
株主資本合計	105, 636	108, 606
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	418	662
繰延ヘッジ損益	2	0
評価・換算差額等合計	420	662
純資産合計	106, 057	109, 268
負債純資産合計	297, 850	302, 715

(2) 四半期損益計算書
(第 3 四半期累計期間)

(単位 : 百万円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
売上高	582, 919	590, 202
売上原価	521, 466	527, 351
売上総利益	61, 453	62, 851
販売費及び一般管理費	55, 681	55, 344
営業利益	5, 772	7, 507
営業外収益		
受取配当金	137	152
仕入割引	2, 787	2, 791
情報提供料収入	882	876
その他	428	346
営業外収益合計	4, 235	4, 166
営業外費用		
支払利息	348	292
その他	2	42
営業外費用合計	351	335
経常利益	9, 656	11, 338
特別利益		
固定資産売却益	88	233
貸倒引当金戻入額	2	—
受取保険金	—	2, 372
罹災商品補填額	—	1, 119
その他	0	—
特別利益合計	91	3, 725
特別損失		
固定資産売却損	0	158
固定資産除却損	156	116
減損損失	237	906
特別退職金	—	5, 827
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	158	—
その他	40	11
特別損失合計	593	7, 021
税引前四半期純利益	9, 154	8, 042
法人税、住民税及び事業税	3, 162	730
法人税等調整額	716	2, 853
法人税等合計	3, 878	3, 583
四半期純利益	5, 275	4, 458

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位 : 百万円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	9,154	8,042
減価償却費	2,949	3,680
減損損失	237	906
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	28	66
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,065	△1,155
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	25	44
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△363
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	148	△178
受取利息及び受取配当金	△137	△152
支払利息	348	292
固定資産売却損益 (△は益)	△88	△74
固定資産除却損	156	116
受取保険金	—	△2,372
特別退職金	—	5,827
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	158	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△15,662	△7,074
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△12,743	△5,354
仕入債務の増減額 (△は減少)	24,690	3,999
未収消費税等の増減額 (△は増加)	421	285
未払消費税等の増減額 (△は減少)	—	851
その他	140	600
小計	8,763	7,989
利息及び配当金の受取額	137	152
利息の支払額	△327	△276
法人税等の支払額	△6,489	△4,309
特別退職金の支払額	—	△5,827
保険金の受取額	—	2,372
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,084	100
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,710	△3,265
有形固定資産の売却による収入	681	1,531
無形固定資産の取得による支出	△64	△186
投資有価証券の取得による支出	△117	△462
投資有価証券の売却による収入	36	1
敷金及び保証金の回収による収入	35	891
その他	△89	△197
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,228	△1,688
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,970	△4,544
長期借入れによる収入	1,500	8,000
長期借入金の返済による支出	△1,467	△1,795
リース債務の返済による支出	△197	△117
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,533	△1,483
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,668	60
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△9,812	△1,528
現金及び現金同等物の期首残高	29,255	18,368
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,442	16,840

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

株式の分割

平成23年10月31日開催の取締役会の決議に基づき、平成24年1月1日を効力発生日として株式分割を行っております。

1. 株式分割の目的

株主への利益還元と当社株式の流動性の向上を目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成23年12月31日(土曜日)最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式1株につき、1.5株の割合をもって分割しております。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	37,235,657株
今回の分割により増加する株式数	18,617,828株
株式分割後の発行済株式総数	55,853,485株

3. 分割の効力発生日

平成24年1月1日

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(販売実績)

①当第 3 四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	商品分類別の名称	当第 3 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	前年同四半期比 (%)
		金額 (百万円)	
卸売事業	化粧品	145, 254	99. 8
	日用品	232, 801	104. 3
	医薬品	90, 893	93. 6
	健康・衛生関連品	105, 977	102. 2
	その他	6, 201	91. 2
	卸売事業売上高 計	581, 128	100. 8
物流受託事業	物流受託事業売上高	9, 074	138. 6
合計		590, 202	101. 2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②当第 3 四半期累計期間における卸売事業の販売実績を販売先業態別に示すと、次のとおりであります。

販売先業態別の名称		当第 3 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	前年同四半期比 (%)
		金額 (百万円)	
Drug	ドラッグストア	347, 341	99. 7
HC	ホームセンター	70, 737	101. 2
GMS	ゼネラルマーチャングストア	40, 850	97. 7
CVS	コンビニエンスストア	45, 019	107. 4
SM、SSM	スーパーマーケット、スーパースーパーマーケット	42, 410	100. 0
仲間卸・均一ショップ	化粧品・日用品卸等	8, 433	98. 9
その他	輸出、その他	26, 336	112. 7
卸売事業売上高 計		581, 128	100. 8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。